慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	新収資料一覧 (その六)
Sub Title	A list of early books newly housed in Shido bunko (part6)
Author	堀川, 貴司(Horikawa, Takashi)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2023
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.57 (2022.) ,p.521- 543
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20220000-0521

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

新収資料一覧（その六）

堀川　貴司　編

前輯掲載「新収資料一覧（その五）」以後に整理した古典籍（一部複製本等を含む）の一覧である。

記述事項はこれまでと同じく、書名、作成地（和漢韓洋）の別および判型、請求番号、編著者、成立年時、刊写の別および刊写者、特徴的な事項、蔵書印・書入等である。請求番号は三段から成る。上段が日本十進分類法新訂6―A版に基づき独自の改編を加えたもの、ただし、配架の都合上貴重書・特殊形態本に独自の番号を与えている。すなわち、091が貴重書、092が箱入り等特殊形態の貴重書、B1が準貴重書、B2が特殊形態の準貴重書、D2は小型本、D3は特殊形態の普通本である。中段が同一分類内での通し番号（古典籍の場合番号の前に「ト」を付す）、下段が員数を表す。

今回は、前回積み残していた安井小太郎旧蔵の稿本類・手沢本の整理を終え、これまた長らく未整理だった松林桂月旧蔵書や、端本等の理由で残されていた藤山工業図書館移管本などに着手したが、まだ道は遠い。

○　総記

活版經籍考二巻　　和大　022ト41

吉〔田〕篁墩（安）撰　〔江戸後期〕写（一筆）

一〇行墨刷罫紙使用。『日本書目大成』四所収本（中野三敏蔵本）と同写式同内容の初稿本。識語：酉山文庫、印記：森／氏

禁書目録　　和半　023ト11

京師書林弐組行事編　〔近代〕写（一筆）

明和八年（一七七一）五月刊本の写し。

浙江採集遺書總錄一〇巻閏集一巻　　唐大　025ト3812

清沈初等撰　乾隆三九年（一七七四）六月序刊（浙江）後修

封面「浙江巡撫〈臣〉三寶進／〈呈〉採集遺書總目錄」。癸集下八オ「雲東拾草十四巻」直下小字「刋本」が中國歴代書目題跋叢書第三輯所収底本は墨釘（国会図書館本も）。ただし同底本にある乾隆四〇年九月黄璋跋を欠く。癸集上第一一丁落丁。

射和文庫射陽書院略目錄（外題）　　和半　026ト501

竹川政胖編　慶応二年（一八六六）八月序刊（編者）

本文共紙表紙、「いさわ文庫」「竹川綠麿／諱政胖／号竹齋」「射和文／庫創／建主人」「家在／射水／之陽」朱印あり。丁付「又三」「又五」あり、「七」なし。東北大狩野文庫蔵本に「人麻呂石向背縮図」挿入あるが、本書に

なし。印記：玄武洞文庫

羣碧樓善本書錄六卷　寒瘦山房鬻存善本書目七卷　唐特大　026 ト49 5

鄧邦述撰　民国一八年（一九二九）一二月序刊（〔江寧〕鄧氏）

印記：百雙主人、徳

新編古今事文類聚七集二三六巻存前集六〇巻目一巻欠巻三十至三十四・後集五〇巻目一巻・續集二八巻目一巻・別集三二巻目一巻欠巻四至八　唐大　032 ト28 32

宋祝穆・元富大用・祝淵編　萬曆三二年（一六〇四）正月刊（金谿・唐富春德壽堂）

白紙封面に「亮采堂唐惠疇梓」とあり、龍鳳凰円印および「聚／奎／齋」印実捺。『明代版刻図録』所収本（封面に「雲林唐積秀梓行」とあり）の同版早印。黄色無地朝鮮表紙に題および細目直書、背浅葱色紗貼付。續集總目冊に三浦〔周行〕宛牧〔野信之助〕書簡挿込（「滋賀縣史編纂用紙」名入原稿用紙使用、封筒欠、日付なし。内容から縣史刊行直前の昭和二年頃のものと推定される）。印記：復古堂（双龍文）、翠化／牋記、權印／圭晨、永壽／世家、景止／堂藏　＊佐藤道生氏寄贈

海録碎事二二巻　和半　032 ト27 8

宋葉廷珪撰　松崎〔慊堂〕（復）校　文化一五年（＝文政元年、一八一八）二月跋刊、文政一三年（＝天保元年、一八三〇）八月印（江戸：須原屋佐助等三都五肆）

四庫全書提要を付す。巻八上第十二丁落丁。印記：康章／臧印

〔齋藤德太郎筆写漢籍類〕　残欠　和大　082 ト119 4

齋藤德太郎編　　大正一四年（一九二五）一二月至一五年六月写（自筆）
論語・文章軌範・續文章軌範・日本外史巻十四至十五の四冊。「本齋藤家用箋」名入一二行罫紙使用。印記：齋、齋藤、齋悳、德／齋、本／齋藤／圖書記、越後北蒲原郡／安田村／齋藤德太郎、游仙窟／主白髪／童子、遊仙／窟主／白髪／童子

一　哲学

〔日本漢学関係資料〕

〔安井小太郎〕編　〔近代〕刊・写（自筆）　和大　121 ト211 1

主として近世漢学関係の文章・資料を孔版一枚刷にしたもので、版下は自筆他筆両方あり。一部「斑竹山房藏」名入り原稿用紙自筆ペン書あり。同内容複数枚あるものもあり。他に「金澤文庫古址碑」整版一枚刷あり。安井小太郎旧蔵。

蛻巖學則（蛻巖先生答問書抄出）

梁田蛻巖撰　〔江戸中期〕写（一筆）　和大　121 ト215 1

日本藝文叢書二所収三巻本（底本梁田忠山蔵本）のうち巻上・答樽井生、巻中・答某生（詩を學ぶ法）、答浪華樋口生、与某生を収める。小異あり。表紙外題は新補。印記：稲太郎／臧書

淺見絅齋先生遺墨（外題）

淺見絅齋書　〔昭和四二年（一九六七）一一月〕刊　和大　121 ト214 1

「敬」一字書の影印（色紙とA2判和紙）に「昭和四十二年十一月十九日／淺見絅齋先生墓域修理記念」と印刷された封筒入の肖像・書簡（末尾署名部分のみ）影印を付す。

諸生階級　和半　121 ト212 1

〔蟹養斎〕（観善堂主惟安）撰　〔江戸中期〕写（一筆）

末尾に「元文四年己未正月」とあり。虫損大。朱陽円印記：（三ツ割の植物、南天カ）

續訓兒名　和半　121 ト213 1

〔蟹〕養斎撰　〔江戸中期〕写（一筆）

経書の篇名、中国歴代君主名などの列挙。虫損大。朱陽円印記：（三ツ割の植物、南天カ）

〔安井小太郎経学関係原稿〕　和大・半　B1 ト295 4

安井小太郎撰　〔近代〕写（自筆）

四帙に収める。1．経書・子書解題関係二二篇、2．経学史関係一六篇＋「慶暦正學派」抜刷一〇部、3．日本漢学関係九篇（内五篇合綴）、4．その他（息軒先生自記履歴、〔島田篁村葬儀〕焼香順表、安井小太郎肖像写真などを含む）。安井小太郎旧蔵。

周易釋故不分巻存冊三・十・十八・二十二・二十五・三十三・三十五・四十一・四十三・四十四　和大　123.1 ト65 10

松井羅州（輝星）撰　〔江戸後期〕写

三十三まで経、三十四以下伝。四周双辺有界一〇行、版心にパーレン五組ある罫紙を使用。

詩經小識八巻　和半　123.3 ト43 1

稲〔生〕若水（義）撰　〔江戸後期〕写（一筆）　123.3
部分的に朱訓点あり。　ト44
　1

同　和半

稲〔生若水〕（義）撰　〔江戸後期〕写（一筆）

九行墨刷罫紙使用、朱墨訂字あり。

毛詩草木詳説二巻　和大　B1
　ト300
闕名者撰　〔江戸後期〕写（一筆）　1

「聿修堂」名入り一一行墨刷罫紙使用。自筆稿本か。識語：三浦右文

春秋經傳集解〔三〇〕巻存巻一至四　和大　123.6
　ト41
〔晉〕杜預注　〔唐〕陸〔徳明〕音義　闕名者補　〔江戸後期〕写（一筆）　1

「巻懐書屋」名入上下二層八行墨刷罫紙（薄葉）使用。双行注に孔穎達疏、上層・欄外に正義その他中国の注釈、觿・雕題その他日本の注釈を引く。識語：鷹巣氏、印記：辻、鷹、藤印／忠淳　＊佐藤道生氏寄贈

大明三藏聖教目錄四巻附大明續入藏諸集　和大　183
　ト23
闕名者撰　闕名者点　天和元年（一六八一）刊（鐵眼道光）　2

五つ目綴。上冊首に「進新刻大藏經表」（延宝六年七月十七日）「上大藏經疏」（天和元年）、下冊末に「刻大藏緣起疏文」（寛文九年七月）あり。刊年は上疏による。経典名に朱圏を付す。印記：信州松代大鋒寺／大藏六世卓能代、信濃州埴科郡松代城柴之邑／大藏經六千九百三拾巻之内／大鋒禪寺現六世卓能新添焉、澁谷藏書記

大明三藏聖教目錄四巻附大明續入藏諸集・武周刊定僞經目錄　和大　183ト24 2

闕名者撰・〔武〕唐釋明佺等撰　闕名者点幷注　〔天和三年（一六八三）〕刊（〔鐵眼道光〕）

天和元年刊本の表・疏を省き、「武」を付し、「倭藏」（天海藏）との異同や訳者名等の注記を加えて覆刻したもの。刊年は序跋等の年記の注に「至于天和三癸亥年…」などとあるのによる。印記：夢白／廬藏、三州碧海郡／正福寺／上佐々木邨、三州碧海郡／上佐々木邨／正福寺藏印、西宝院藏庫、山田文昭藏書

金剛經川老頌古評記二巻　和大　183ト22 2

姚秦鳩摩羅什訳　宋釋冶父道川著語幷頌　日本釋〔龍渓〕宗潜（性潜）注〔江戸前期〕刊

識語：南勢度會郡舩越村竜泉寺亀子用

佛說無量壽經二巻存巻下　和大　183ト25 1

三国魏康僧鎧訳　〔江戸後期〕刊

折本。黄色料紙。183ト11 1とツレ。寛政一二年（一八〇〇）正月願泉寺所藏識語あり。

佛會紀要三巻　和半　186ト7 4

大谷光尊撰　明治四二年（一九〇九）五月刊（京都：本願寺派本願寺執行所）

活版。第一上下、第二、後篇から成る。藤山工業図書館移管本。印記：田中／臧書／東京長者丸

三教指歸注七巻　和大　B1ト290 3

闕名者撰　〔江戸中期〕写（寄合書）

釋運敞『三教指帰注』の再注釈書。外題「三教指歸四五私」（第二冊のみ題簽存）。補注多し。識語：密乗白石戒

順（梵字「阿」カ）、印記：下／圓和泉／総、武陽化龍白／石堂圖書記、東都化龍白／石堂圖書記

蕉窻漫筆三巻　　和大　188 61 3

釋義海撰　　明和三年（一七六六）九月助刻記刊

漢文随筆。末尾に「華頂山御藏版目錄」「皇都書林麗澤堂（澤田吉左衛門）藏版標目錄」を付す。刊記なし。

松林桂月旧蔵。印記：醇庵書院

名藍圖（外題）　　和大　091 ト446 1

闕名者編　　〔近世初〕写（一筆）

中国五山・十刹・甲刹一覧・五山住持一覧、大徳寺住持一覧、日本五山・十刹・諸山一覧から成る。大徳寺は文禄二年まで一筆、その後元和四年まで別筆にて増補。朱句点・朱引あり。印記：神田家藏

二　歴史

先進繡像玉石雜誌九巻存巻六至九　　和大　210 ト17 5

栗原柳荄撰　栗原信兆画幷校　　天保一四年（一八四三）閏九月官許刊（江戸：尚友堂〔岡村屋庄助〕、栗原信充藏板）

藤山工業図書館移管本。

泰平年表八巻・續泰平年表一〇巻　　和大　215 ト71 8

〔大野広城〕（忍屋隱士）撰　（續）〔稲葉新六〕（竹舎主人）撰・四溪堂校補〔幕末明治〕写（一筆）

印記：高橋／智臧

〔伊東氏関係史料〕　和半　288ト5 30

〔安井小太郎〕編　〔近代〕写（一部自筆）

『伊東氏記録』の原史料（系図・史書等）抜書。「大のや」名入原稿用紙、「相馬屋」名入罫紙、「神田區役所前矢島製」名入洋紙原稿用紙等使用。安井小太郎旧蔵。

三　社会科学

職原鈔二巻　和大　092ト193 2

北畠親房撰　〔近世初〕写（一筆）

有界六行上欄ある墨罫料紙、朱墨訓点・頭注・傍注あり。正平二年一二月源顕統本奥書あり。筆者を藤原惺窩とする極札（古筆別家「守／村」印記、裏書なし）および箱書あり。巻上料紙ノド焼損あり、背側が焼けたものと思われ、その部分を切断し裏打製本。印記：青谿／書屋

白鶴塾門生名簿　和大　372ト5 1

闕名者編　〔明治〕写（一筆）

「西疇精舎文稿巻」「鹿鳴園藏」名入九行墨・紫刷罫紙使用。一部に現住所を記す者あり。今治藩儒萩原西疇の門生名簿。

七　芸術

扶桑畫人傳五巻　和大　721-ト14-5

古筆了仲撰　赤松徳三・佐藤榮中校　明治一七年（一八八四）八月刊　同二一年（一八八七）八月修（東京：坂昌員）

松林桂月旧蔵。

〔四季山水詩画帖〕　和半（枡形）　B1-301-ト1

〔矢野〕竹舌画幷書　〔江戸後期〕写（自筆）

画帖仕立、絹本に四季それぞれの南画および中国文人の詩を見開き左右に記す。絵の落款「竹舌山民寫（印「淳印」「五文」）」詩の落款「可同淳録（印「田舎／翁」）」。松林桂月旧蔵。

螢雪軒論畫叢書（序題）六巻　和中　722-ト8-6

近藤南州（元粹）編評幷点　〔明治四三至四四年刊（大阪：猶興書院出版部）〕大正一一年（一九二二）九月印（大阪：近藤元精、石塚書舗發賣）

活版。元帙入。松林桂月旧蔵。

古筆切物鑑　和大　728-30-ト1

闕名者編　〔江戸後期〕写（一筆）

鼈頭付き九行墨刷罫紙を使用、鼈頭に「了意翁小冊書入」として注記あり。『古筆名葉集』に類する内容で、それより記事豊富、ただし『増補』『新撰』において命名された切名は少ない。同筆朱書入あり。見返識語「此冊係畑古雪翁旧蔵題簽乃翁手書也」（神田香巌筆か）。印記：神田家藏

〔短冊控帳〕　和特大　091 ト447 5

古筆了栄・古筆〔了祐〕（八兵衛）編　〔江戸前期〕写（一筆）

奉書打紙料紙紙釘装、外題「勅筆摂家清花御短冊帳」「諸公家短冊帳」「武家短冊帳」「詩短冊〈幷〉小短冊」「當分難見分短冊」。貼紙の記述により、もと七冊あったこと（他は地下・僧侶分か）、寛政六年・文久元年に点検したこと、手鑑作成のために使用されたものがあることがわかる。古筆本家所蔵短冊一覧であろう。各冊末尾に了栄・八兵衛連名の極書あり（「武家」は裏表紙欠のためなし、「當分」は内容上なし）。

〔古筆了佐像幷附属品〕　和　092 ト197 1

闕名者製　〔江戸至昭和〕製・写

木造漆塗僧形座像一軀、もと胎内に琴山印を収める。桐箱内附属品（冊子を除き革製巾着袋入り）：書袋に「秘覺書」、表紙に「枯笘古筆了信記」と記された横小本（古筆家年中行事、連歌などの手記）、籐製小箱（「琴／山」印三顆等合計一〇顆入り）、革製小袋入り印泥（ガラス容器）、「賜」と印刷された紙製小箱（古筆了信名刺、先祖伝来の小筆、般若心経・了佐行跡等を記した紙片多数）。

惟一堂石刻蔵板目次　和半　B1 ト288 1

石川洒庵（貞粲）編　天保一一年（一八四〇）夏序刊（編者）

序題「石刻目子」、序末「天保庚子夏日　北筑　石洒庵識（捺印「洒庵」）」、各作品名下に金額朱捺印あり。

和漢名公法帖（目録題）〔四〕巻存巻〔三・四〕　和中　728 31 ト2

〔青木宇干〕（書苑齋武子）編　明和八年（一七七一）五月刊（江戸：奥村喜兵衛、前川六左衛門）

四巻のうち「和」の部二巻（和様・唐様）存（目録の巻次表記切取）。唐様巻首「歴代諸家法帖」。刊記（唐様末）に「彫工上村兵吉（印「扇／風」）」とあり。後修改題本「和漢歴代名公法帖」では二巻二冊、乾冊が中国、坤冊が日本で、唐様和様の順。藤山工業図書館移管本。

〈伊勢大和紀行〉詩歌帖（題簽）二巻存巻上　和半縦長　728 ト32 1

賴山陽・梅颸・杏坪撰幷書　宮原〔節庵〕（龍）編　〔明治一二年（一八七九）〕刊（〔京都〕：井上〔治兵衛〕）

序題「山陽先生和勢游中詩歌」、帙刷題簽・版心題「山陽先生詩歌帖」。元帙入。巻上のみでも販売されたか。名取和作旧蔵。印記：名取／藏書

山陽先生真蹟詩帖（扉題）　和中　728 ト33 1

賴山陽撰幷書、〔永尾銀次郎〕編　明治一一年（一八七八）四月御届刊（東京：永尾文香、沈香書閣藏版）

画仙紙。序跋・印譜等の印実捺。編者名は明治一二年四月再刻本奥付による。松林桂月旧蔵。印記：本郷區／湯嶌切／通阪町／十六番地、吉村（？）／圖書

魏太傅鍾繇千字文　和大　D3 ト29 1

題魏鍾繇撰　題〔晋〕王獻之書　〔江戸後期〕刊

伝鍾繇作の二儀日月千字文を王獻之が永和八年七月に摹したとされるものの正面刷。〔顔〕真卿跋、張彦遠・陸贄印記あり。未製本八紙より成る。古い包み紙にペン書「墨林鴻寶〈獻之摹（摹の誤り）鍾大傳（傳の誤り）千文」とあり。呉田吉田家旧蔵。＊内田保廣氏寄贈

八　言語

恆言錄六卷

清錢大昕撰　　和大　823 ト37 3

文久三年（一八六三）刊（〔昌平坂学問所〕）

官版。覆嘉慶一〇年（一八〇五）五月序文選樓叢書本。

九　文学

古今新古今漢序訓点（外題）

闕名者編　〔三条西実隆〕点　〔江戸後期〕写（一筆）　和半　911 ト235 1

慶長八年（一六〇三）一一月に逍遥院点本を写した旨の頌遊本奥書あり。末尾「芸／叢」菱形印記模写あり。親本は龍門文庫蔵本か。朱墨訓点。「新」には語注あり。印記：鷦巣亭蔵書

暮春白河尚歯會和歌

藤原清輔撰幷編　〔江戸後期〕写（高田武泰）　和大　911 ト234 1

扉（もと本文共紙表紙）題「清輔朝臣尚歯会之記／武泰写之」。印記：高田／之印、讀過、紅梅／文庫

古今和歌集兩度聞書不分卷

東常縁撰　宗祇編　〔江戸前期〕写（一筆）　和大　092 ト194 6

版本系。下部水損（欠損あり）、総裏打、原二冊を六冊に分冊。古い後補表紙に奉書紙覆表紙を掛ける。箱入。印記：文庫、吏部大卿忠次

貫之集九巻　　和半　　B1 ト298 1

〔紀〕貫之撰　〔江戸前期〕写（一筆）

列帖装、藍色地金泥松竹下絵表紙、朱題簽。第一類九巻本系統のうち陽明文庫蔵本・歌仙家集本の中間的本文。奥書なし。集付・異文注記あり。

新千載和謌集二〇巻　　和半　　091 ト314 16

〔二条為世〕奉勅編　〔江戸前期〕写（一筆）

列帖装、料紙鳥の子紙。焦茶色無地表紙、題簽素小紙片左肩「新千載　上（下）」。印記：清水文庫（朱陽長方単枠、隷書）

守國公五十御賀章（外題）　　和特大　　092 ト192 1

闕名者編　〔文化四年（一八〇七）〕写（各自筆）

松平定信五十賀詩歌を記した渋横刷毛目下絵短冊（一部水玉など別下絵のものあり）六二枚を巻子本に仕立てたもの。作者は幕臣およびその家族、津山藩・熊本藩・松山藩・中津藩藩士など。

樂翁公住吉奉納百首和歌（題簽題）　　和大　　911 ト236 1

松平定信撰　昭和二年（一九二七）五月序刊（澁澤榮一）

澁澤榮一筆本のコロタイプ影印。「招月庵正徹小傳」活版一枚刷を付す。松林桂月旧蔵。旧蔵者メモ挿入。

又　　和大　　911 ト237 1

又

又。藤山工業図書館移管本。

新撰朗詠集二巻　　和大　911 ト233 2

藤原基俊編　　寛永八年（一六三一）正月刊（〔京〕：杉田良庵玄与）

縹色布目型押卍繋菊唐草艶出表紙、原題簽左肩（ほとんど剝落）。帙題簽〔森銑三〕書（弘文荘扱い）、ただし待賈古書目三二所載本とは表紙異なる。印記：かねく（上下に桜花をあしらう）

夢のそら言（題簽題）　　和中　911 ト238 1

鷗雨菴雪堂撰　　〔明治〕刊

都々逸集。大和綴、薄茶料紙、多色刷挿絵あり。「雪堂」は落款印による。松林桂月旧蔵。

〔源氏物語五四巻〕存〔宿木〕　　和中　913 ト106 1

〔紫式部〕撰　　〔江戸中期〕写（一筆）

列帖装、金襴表紙、布目地金銀砂子散らし料紙。青表紙本系。外題なし、本文冒頭右傍に朱書「宿りき」。

續世継一〇巻（〔今鏡〕）　　和大　913 ト105 10

〔藤原為経〕撰　　天保一三年（一八四二）六月刊（合歓園）

木活字版。翻慶安三年正月中野道伴刊本。日本書誌学大系『近世木活続貂』所収本には附載される跋文、本書になし。印記：入出小／學校印、葛尾／書屋

〔今鏡断簡〕　　和　092 ト195 1

〔藤原為経〕撰　　〔鎌倉〕写（一筆）

天地行間薄墨有界。朱声点あり。裏書なし。すべらぎの中第二・紅葉の御狩の一部「御修法～いたりしかは」七行分、四・五行間紙継あり。金澤文庫蔵断簡のツレ。古筆了栄極札は筆者「寂蓮法師」とする。

寒檠璅綴〔六巻附一巻〕存巻二　　和半　　B1 ト289 1

淺野〔梅堂〕（長践）撰　〔明治〕写（自筆）

四周双辺有界一〇行「繡林書屋」名入り罫紙を用いる。朱訂あり。国会図書館蔵自筆本の加筆訂正を本文に反映させた定稿本か。なお、藝苑叢書本解題に言う「自筆本」は、国会本より前段階の稿本であろう。

土佐日記（外題）　　和大　　915 ト9 1

〔紀貫之〕撰　〔寛永二〇年（一六四三）正月〕刊　萬治三年（一六六〇）正月印（京：秋田屋平左衛門）

朱色雷文繋牡丹唐草艶出表紙、原題簽存。五つ目綴。北村季吟『土左日記抄』抄出書入あり。印記：和而不流、眞崎／展章、字曰／文質、北／澤2

〔平田家来簡集〕　　和　　B1 ト297 30

〔平田武彦〕編　〔昭和〕写（各自筆）

1．高見祖厚〔明治三九年〕九月五日付土屋員安宛一通。2．古城貞吉〔明治四二年〕二月二六日付土屋員安宛一通、〔昭和二一至二三年〕平田武彦宛八通、〔昭和一八至二〇年〕平田信彦宛五通（内三通葉書）、3．古城竹〔昭和二〇年〕八月二一日付平田縫子宛一通、4．狩野直喜〔昭和二一年〕九月七日付平田信彦宛一通、〔昭和二二年前後〕平田武彦宛四通（内二通葉書）、5．細川護貞〔昭和五一至五九年〕平田武彦宛八通（内三通葉書）。他に古城貞吉肖像写真（名刺判、「NONOMIYA」名入、裏に「平田武彦藏」とペン書あり）一葉。平田信彦・武

彦宛古城貞吉書簡は平田武彦『坦堂古城貞吉先生』（西海時論社、一九五四）に収録。〔古城貞吉文稿〕と一具で購入、同帙に保管。印記：平田／武彦（平田信彦宛狩野直喜書簡）

文話〔八〕巻存巻一至六（題簽「拙堂文話」）・續文話八巻　和半　919 ト382 7

齋藤拙堂（謙）撰　（文）〔文政一三年（一八三〇）一一月〕（續）天保七年（一八三六）刊〔後〕印（大坂：河内屋茂兵衛、（文）古香書屋（續）不自欺齋蔵版）

藤山工業図書館移管本。

〈詩文用材〉故事詳解　和中　919 ト375 1

村松南涯撰　明治一七年（一八八四）一二月版権免許、同一九年（一八八六）二月刊（東京：吉田金藏・石川治兵衛　微咲軒蔵版）

松林桂月旧蔵。印記：藤田

詩語國字解二巻　和小　D2 ト162 1

大江玄圃撰 大江維寧・源通顯編 天明元年（一七八一）七月刊（京：林伊兵衛等五肆）後印（京：植村藤右衛門）

割印帳では「京都板元河南四郎右衛門」とあり、連名刊記の筆頭に載る。末尾に植村の「詩學書目録」四丁あり。

名取和作旧蔵。識語：なとり、印記：文苑堂／圖書記

默雲詩藁〔二〕巻存巻上　和大　091 ト444 1

〔釈天隠龍沢〕撰　〔室町後期〕写（一筆）

五山文学新集五天隠龍沢集のうち「默雲藁」の系統で、前半七言絶句部分のみ存。一部に朱句点・朱引等あり。

総裏打。印記：常

補菴絶句　東遊集絶句

〔釈横川景三〕撰　　和大　　〔室町後期〕写（一筆）　　091 ト445 1

五山文学新集一横川景三集のうち「小補集」「補庵集」「補庵京華前集」「小補東遊後集」「補庵京華後集」「同續集」「小補東遊集」の七言絶句を収め、末尾に小補集序を付す。解題に挙げる諸本では彰考館本「補庵絶句」と同系統か。同集底本に未収録の作品も含む。朱句点・朱引あり。識語：大徳寺宗吉筆（花押）

櫻花百絶附題櫻花百絶

中野〔龍田〕（煥）撰　　和大　　天明三年（一七八三）一〇月刊（京：脇坂庄兵衛）　　919 ト374 1

附録は知人たちが寄せた本詩集への題詩。識語：皇都安居院長栄寺慈敬、印記：遠加文庫

荷蘭舩行

頼〔山陽〕（襄）撰幷書　　和大　　文政六年（一八二三）正月写（自筆）　　092 ト196 1

巻子本。物集西阜に贈ったもの。『山陽詩鈔』巻三所収本文では削除された詩句を含む。『頼山陽全書』文集巻十に跋が収められ、「コノ巻、松方海東公ノ遺愛ニ係ル」と注する。呉田吉田家旧蔵。＊内田保廣氏寄贈

富嶽詩集

小西古香編　　和半　　大正五年（一九一六）四月刊（秋田縣六郷町：小西利兵衛、東京：東京堂賣捌）　　919 ト377 1

活版。題詞・序跋石版、口絵銅版。松林桂月旧蔵。

〔安井小太郎詩稿〕

和大　　B1 ト291 6

安井小太郎撰　〔明治至昭和〕写（自筆）

紙縒綴三冊と三枚から成る。1．外題「獨倚楼集」をミセケチした詩稿。明治二六至三五年作（主に紀行詩）。2．大正二至六年作、洄瀾社同人による批点・批評書入あり。3．明治一一至昭和八年作、料紙・筆記具さまざまな詩稿を合綴。一部に2．と同様の批点・批評あり。洄瀾社名入原稿用紙（二一字二〇行）も使用。4．「峰青嵐壽詩並序」一紙。5．送小村長城入北京（大正五年）二紙（同内容）。安井小太郎旧蔵。

〔安井小太郎文稿〕

安井小太郎撰　〔近代〕写（自筆）　和大・半　B1 293 ト 1

譯文（和文の故事逸話を漢文訳したもの）二〇篇、その他の漢文六篇（内一篇は初稿・再稿、一篇は初稿・再稿・三稿あり）、他に〔福井学圃〕撰「涵詠餘話」あり。未製本。ほとんどが批点・批評あり（〔安井小太郎詩稿〕と同メンバー）。料紙は相馬屋製原稿用紙が多いが、「涵詠詩社」名入のもの、洋紙ペン書のものも混じる。安井小太郎旧蔵。

〔朴堂遺稿原稿〕

安井小太郎撰　〔近代〕写（自筆）・刊　和大・半　B1 294 ト 4

〔安井小太郎文稿〕と同様の原稿のうち、『朴堂遺稿』に収められたもの一一篇。ただし「車乘考並序」は活版抜刷を添える。他に序は鹽谷温自筆、ただし『遺稿』版下に用いられたものとは別原稿（内容は同じ）、墓誌銘は原本をフロッタージュ（凸版の拓本）にしたもの。安井小太郎旧蔵。印記：柗雲／堂印（墓誌銘にあり）

〔古城貞吉文稿〕

和半　B1 296 ト 19

古城貞吉撰　〔昭和〕写（自筆）

『迴瀾集』所収作品の自筆草稿一七篇（重複あり）。「目白山房」名入四〇〇字詰または「迴瀾社」名入二一行二〇字詰原稿用紙使用。同人による批評のほか、狩野直喜の批評入りのものもある。初丁右下赤鉛筆の数字は『迴瀾集』所収編数を示す。なお、批評部分のみ存するもの一点、素紙料紙に記された「課題」短文一点を含む。〔平田家来簡集〕と一具で購入、同帙に保管。

題畫百絶

田邊碧堂（華）撰　大正九年（一九二〇）七月刊（東京：〔撰者〕）　和小　D2 ト163 1

活版。刊記には刊地「東京四谷區須賀町」のみあり。松林桂月旧蔵。

自知齋詩鈔二卷・文稿二卷（元帙題簽「自知齋遺稿」）

高森碎巖撰（詩）高森喬編（文）輿住修吉編　昭和三年（一九二八）九月刊（東京：松雲堂書店）　和中　919 ト379 4

活版。詩鈔口絵撰者写真を載せる。松林桂月旧蔵。

又

又　和中　919 ト380 4

又。松林桂月旧蔵。帙内側に桂月宛長井静堂献呈署名あり。

閒々子詩前後編

權藤成卿撰　權藤四郎介編　昭和八年（一九三三）一二月刊（編者）　和半縦長　919 ト376 2

コロタイプ影印。小川打魚他の評あり。原帙入。松林桂月旧蔵。

〔詩箋詩稿類〕　和大・半　B1 ト292 1

〔大沼〕枕山等撰　〔幕末明治〕写（自筆）・刊

大沼枕山「地震行」活版一枚刷（「古香詩／屋記」朱捺印あり）、嵩古香「癸丑十月一日枕山老師二十三回忌辰同中根半嶺翁掃展記感」二首等四首石版刷（二枚）、聴竹散人・釋哲雄・〔谷口〕鹿洞・岡村順・義行詩箋、闕名者詩稿、「潛中紀略抄」（清河八郎撰、「南陽殿村昱」名入罫紙）を収める。安井小太郎旧蔵

警醒鐵鞭　和半縦長　919 ト381 1

田中従吾軒（隱居放言翁）撰　小長井小舟評　明治一九年（一八八六）一〇月刊（東京：九春堂丸谷新八）

著者名奥付は「田中參」。巻末九春堂出版書目（活版）を付す。松林桂月旧蔵。

飛驒探勝　和半　919 ト378 2

向島天口（豊之助）編幷撰　大正九年（一九二〇）二月刊（高山：渙々亭書房）

洋紙活版。元帙入。同撰者別冊「飛驒鐵道之価値〈『附』雪の中山峡〉」（外題）を付す。松林桂月旧蔵。

明解増和千家詩註二巻存巻下　唐特大　921 ト331 1

宋謝枋得注　二〇二一年七月刊（廣西師範大學出版社）

国家図書館蔵明内府朱欄彩色挿図本の複製。

日涉雑誌（外題）　和半　B1 ト299 1

〔塩谷〕宕陰編　天保一三年（一八四二）二月至一五年（＝弘化元年、一八四四）二月写（編者・吉嗇正助）

清王昶撰「友教書院規條」「雪鴻再錄」、斎藤竹堂「林子平傳」（吉嗇正助写）等を収める。前二編に編者書写奥書あり。

「雪鴻」に朱批点あり。

王夢樓絶句二巻存巻二　和中縦長　921 ト334 1

清王〔文治〕撰　大沼枕山編幷批　宍戸逸郎録　明治一四年（一八八一）三月刊（東京：東崖堂富田彦次郎・林安之助）

画仙紙。松林桂月旧蔵。

魁本大字諸儒箋解古文眞寶前集三巻（クワイホン タイジ ショジュ センカイ コブン シンホウ）　和中　921 ト332 3

〔宋黄堅〕編　闕名者訓　弘化三年（一八四六）刊（京：文徳堂勝村治右衛門、大坂：宋榮堂秋田屋太右衛門）

無注総ルビ。五言・七言・歌行その他で分巻。弘化刊記と別に裏見返に三都一〇肆の刊記あり、勝村治右衛門に「版」とあり。松林桂月旧蔵。朱批点あり。

歴代題畫詩類絶句抄二巻　和小　D2 ト160 2

葛〔西〕因是編　文化一四年（一八一七）〔五月〕刊（〔江戸：寶翰堂堀野屋儀助等〕）後印

西嶋蘭溪編同題本二巻の拾遺。版心はそれぞれ巻三・巻四となっている。松林桂月旧蔵。印記：藤田

西湖竹枝詞不分巻存下冊　和中　921 ト333 1

〔菊池五山編幷批〕　文化八年（一八一一）一一月刊（江戸：山城屋佐兵衛等三肆）

刊記に刻工名「〈江戸〉霞華年」あり。松林桂月旧蔵。印記：修靜、靜／逸

重訂唐詩別裁集二〇巻　唐特小　D2 ト161 10

清沈德潛編　沈種松校　〔清〕刊（經綸堂藏版）

松林桂月旧蔵。古い紙帙入。朱句点書入。識語：丁未中元後二日讀了　三松／壬子立春後三日再讀于詩窻村舎之半湖水樹　三松主人（印「三松／主人」）、印記：三松詩屋（紙帙にも捺印あり）